

平成二十三年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十三年八月一日～平成二十三年十月末

投句数 一、六三四句

特選三句

天

仲秋の月に浮かぶや和賀江島

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

地

白芙蓉ばかりを咲かせ法の庭

愛知県名古屋市長区

山下ヤスコ

人

秋高しどの道ゆくも史跡あり

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

入選句

一般の部

秋うらら金波銀波の由比ヶ浜

神奈川県横浜市栄区

天野 博

谷戸を出てまた谷戸に入る暮の秋

神奈川県鎌倉市

伊藤俊昭

茫々の草に埋もるる野菊かな

東京都杉並区

稲垣克巳

急ぐまじ谷の小径は夕紅葉

神奈川県鎌倉市

岩崎正和

山門のいらかの反りや秋の雲

神奈川県鎌倉市

牛島淳吉

十六夜の月をお伴の散歩かな

東京都世田谷区

大津三典

木犀や清方に見る江戸情緒

神奈川県鎌倉市

岡田 昭

大仏の膝下に秋の日を浴びぬ

神奈川県川崎市多摩区

岡山祐子

コスモスを縫うて日射しの揺れにけり

東京都練馬区

勝田剛史

鎌倉の陽に遊びたる小六月

神奈川県横浜市泉区

糸谷京子

尼寺や白ばかりなる曼珠沙華

神奈川県相模原市中央区

佐分靖子

鐘の音と共に鳴り止む虫の声

埼玉県草加市

甚野雄太

万太郎句碑の字細し秋日影

神奈川県鎌倉市

長尾俊郎

長谷寺に人待ちをれば小鳥来る

東京都板橋区

中川いく子

山門をくぐりてよりの秋の冷

東京都武蔵野市

中村容子

蓮の花白く輝く神の池

神奈川県厚木市

萩原敦子

鎌倉も奥の寺なる紫苑かな

滋賀県大津市

前田攝子

山寺の鐘の溶け入る紅葉山

千葉県船橋市

前原慶輔

秋さぶや仁王在さぬ仁王門

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

虫時雨月光降りぬ終の家

東京都大田区

山田隆紀

(順不同)

入選句

子どももの部

秋の空大仏様がそびえ立つ

山梨県南巨摩郡

市瀬 絢菜

頼朝のおもかげはこぶ秋の風

神奈川県平塚市

甲斐 巧実

美しき古都鎌倉でもみじがり

神奈川県平塚市

加藤 裕典

建長寺くりの実一つ落ちていた

埼玉県越谷市

北島 愛華

もみじがりしながら歩く化粧坂

静岡県菊川市

高坂 紘也

秋晴れに大仏さんとおべんとう

埼玉県比企郡

五味 遥夏

鎌倉の山に登って秋を見る

埼玉県越谷市

新居 ひかる

だいぶつのおたまにひらりもみじの葉

神奈川県平塚市

瀬戸 一樹

秋風に大仏様も深呼吸

静岡県菊川市

早川 愛理

秋の日に輝く海の美しさ

埼玉県越谷市

山川 凱

(順不同)